

内 科

診療科の紹介

外来は消化器・神経・腎臓・甲状腺・一般内科外来を設置しています。多くは非常勤医師で対応しておりますが、近隣の先生方からのご紹介に極力お応え出来るよう、スタッフ一同努力してまいります。

また救命救急センターを併設しており、出来る限り救急患者の受け入れを行っています。これからも、地域との連携を深め質の高い医療を提供出来るよう頑張りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

診療科の特徴（強みや新たな取り組み等）

主な検査・治療

■上下部消化管内視鏡

水曜日と木曜日の午後に非常勤医師により下部消化管検査を行っています。上部消化管内視鏡は月曜日から金曜日まで午前中に非常勤医師や消化器外科医師により行っています。また吐血などの緊急内視鏡については、ほぼいつでも対応出来るようにしています。

■超音波検査

月曜日に、腹部エコー全般、体表エコー（頸部耳鼻科領域、甲状腺・副甲状腺、体表皮膚科領域）を行っています。非侵襲的な検査の代表です。小児から高齢の患者まで、状態の悪い場合も含めて検査出来ます。また、北九州の超音波検査の普及や高度化にも力を入れております。各医院でのスタッフ養成についてもお尋ね下さい。

■神経伝導速度・筋電図

しびれや筋萎縮などの原因を調べるために、電気刺激を用いて神経のどこが障害されているかを調べることが出来ます。手根管症候群や肘部管症候群などの末梢神経障害が良い適応です。また、筋肉に直接針を刺して筋萎縮の原因を調べる針筋電図も行っています。

取り扱う主な対象疾患

■消化器内科

非常勤医8名にて消化器疾患の外来診療（平日午前中）と上下部消化管内視鏡検査を行っています。腹部超音波検査、腹部CT検査など適宜施行し、診断・治療を行っています。

■甲状腺

非常勤医師1名により、バセドウ病等の甲状腺疾患の外来診療を毎週月曜日に行っています。

■脳神経内科

中枢神経（脳・脊髄）から、末梢神経、筋肉に至るさまざまな病気を対象にしています。頭痛、しびれ、ふるえ、めまい、筋力低下などの診断・治療のほか、神経救急疾患（脳血管障害、脳炎、髄膜炎、ギランバレー症候群など）や、パーキンソン病をはじめとした神経難病についても診療に当たっています。

■腎臓内科

月、火、木の週3回腎臓内科の外来診療をしています。

検診などで血尿や蛋白尿などの尿異常や、糖尿病性腎症、薬剤性腎障害、腎実質性高血圧、高尿酸血症など、腎臓病の保存期を中心に治療を行っています。当院では維持透析は行っておりませんので、末期腎不全に至った患者様は適切な医療機関へご紹介いたします。また、重症例や腎生検診断が必要な場合、産業医科大学腎臓内科と連携していますのでご紹介いたします。腎生検診断後の治療継続は、当院でも副腎皮質ホルモンや免疫抑制剤などによる治療が可能ですのでご紹介ください。

■膠原病

非常勤医師1名で毎週金曜日に外来診療を行っています。関節リウマチをはじめとした膠原病を広く診療しています。多系統領域にまたがる疾患ですので、当院の複数の専門科と協力しながら診療を行っています。重症例は、産業医大第一内科と連携して治療を行います。膠原病の病初期の判断は困難なことが多いのですが、この時期の治療の重要性も確認されています。疑わしい症例は、ご遠慮なくご紹介下さい。

スタッフ紹介



統括部長・内科主任部長
末永 章人
すえなが あきひと



内科
宮崎 三枝子
みやざき みえこ